

## 「ハツラツとした老後」

### 1. 「ボランティアで活躍する尾島春夫さん」

前号で、マイブームと題して書いてサミュエル・ウルマンの「青春」の詩から導き出した「若さ」＝「信念」×「自信」×「希望」の公式をご紹介しますが、今年の盆休みに右掲写真のニュースがあり、ボランティアで貢献された78才の尾島さんの姿がクローズアップされました。2才の男の子が行方不明になったニュースを知って、大分県から山口県周防大島町まで、軽自動車でかけつけ発見者になったのです。65才で魚屋を引退した後、「世の中に恩返しをしたい」と中越地震や東日本大震災でボランティア活動を行い「師匠」と崇められる方です。

この方は「信念」＝「世の中に恩返し」であり、「自信」＝「健康と体力」で、「希望」＝「人助け」という事かと思えます。人さまの懐を心配する訳ではないが、TVのインタビューに国民年金だけでは大変ではないかと聞かれた時に、余計な金は要らないと答えたそうです。確かに、お元気そうで健康不安がなさそうに見受けられます。「いなせ」というのか「ねじり鉢巻き」が似合う気風のよい方に見受けられます。

孫を発見された祖父からお風呂に入ってくださいと薦められたが、ボランティアだからお水は頂くがその他は一切不要と断られたそうです。私なら「まあ、そうおっしゃるなら・・・」とお風呂や接待を受けるとは思いますが、そこをキッパリと断られる姿はホンマに気風のよさを感じ、私には出来ない姿で「憧れ」に思えます。



### 2. 全国ランキング1位を目指す

606号で「限界効用逓減の法則」をご紹介します69才になって「伸び代」が薄くなって来たと書き607号でマイブームで自分なりの「伸び代」を考えたのです。「一人カラオケ」を始めて5年程になりますが、始めるキッカケはOB会で「俵星玄蕃」を歌う事になったからです。当初はシンプル採点で80点が出たら良い方だったのです。この曲は、歌謡曲とセリフ・浪曲が合体した物で三波春夫さんのオリジナルな世界なので、歌謡曲だけなら現在は93点が出る事もあります但し全体になると88点止まりです。それでも、当初から見れば8点も上がっているのです。

確かに、「伸び代」は薄くなっており90点まで2点ですが、浪曲部分の音程一致度が低い事が大きな課題になっているのです。浪曲部分は、これぞ三波春夫という世界なので、三波さんも歌謡曲では出さない高音域を出しておられるのです。従って、浪曲部分の音程一致度を上げればよいのですが、高音域の為に今の発生法では難しいのです。この為には、若い方の歌でキーを下げずに歌う事で解決するのが現実的な方法です。日頃、楽に歌いたいのでキーを2つ3つ下げているのです。このギャップを克服すると2点の差が埋まるかも知れないのです。

お客様に「出来ない」と言わない事と言っていますので、私もチャレンジしたいと思います。幸い、福田こうへいさんや三山ひろしさんの歌も最近、歌っているのですが、どちらも民謡調なのです。まだまだ、自分は若いとムチ打って高音域にチャレンジしたいです。「なせばなる、ナセルはアラブの大統領」って言葉がありましたが、やらずにムリと引き下がっては人にムリを言えなくなるので、なんとかチャレンジして俵星玄蕃を90点台に上げて全国ランキング1位を取りたいと思います。

### 3. 「才能」＝「やり続けられる事」＝「DNA」

尾島さんの活躍から「全国ランキング1位」を目指すと書きましたが、カラオケは余り上手ではないが、毎日30分の一人カラオケが楽しいから続けられているのです。ある程度の才能がある証拠でもあるのです。しかしながら、「梅檀は双葉より芳し」という諺があるように、「天性」という意味では少し違って来ます。上手な方は「天性」に恵まれており、当初からレベルが違うのです。私の場合、凡才の域であり、努力の積み上げである程度の高得点になっているだけなのです。全国ランキング1位は「天性」の方がいらっしゃるので難しいと思いますが、チャレンジして差を詰めたいと思います。

しかし、広く世の中の為になるには、カラオケでは自己満足に過ぎず不十分です。やはり、自分の天賦の才であるコンサルティングを磨く事になります。お蔭様で三男がシステムを通じてお客様に貢献する道を歩んでくれるので、その道を補完する形で経験を取り入れてくださるお客様に貢献して行きたいと思います。頭だけではなく、行動という面で支援できるように「形は心を動かす」の信念でリソグラフやFax・Webなどのコンテンツ発信で貢献したいと思っています。

また、この経験をルール化して他の方にも伝えたいと思い、既に、大阪商工会議所・経営サロンで「ちらし術と創発進化」(参照：<http://www.web-ami.com/pptxt/180719/index.html>)と題して話しています。この時、使用したパワーポイントを公開していますが、船井総研の客員経営コンサルタントとして23年の経験の中でルール化した事を記載しています。特に、「創発進化」は、後から振り返ってみて言える事ですが、数多くのケースがありましたが、その内の数例を資料に上げています。勿論、成功体験ばかりでなく、失敗した事からルール化出来た事も数多くあります。やはり、理論ではなく実践で学ぶ事がポイントだと気づいています。

### 4. 外向きに明るく元気に

何と言っても尾島さんは明るい方です。78才でお元気で、ボランティア活動の方々では「師匠」と呼ばれているそうです。65才で魚屋を引退されて、今は、国民年金で生活されているそうですが、世の中に困った事があつたら助にやならんと軽自動車を駆使して全国各地へ気軽に出かけておられるそうです。TVで拝見した所では、いつでも駆けつけられるように、ボランティア活動の「7つ道具」や非常食や水など、そして、簡易コンロなどを用意されているのです。「考えて準備する」では動けない、思い立った時に即行動が重要だとおっしゃっていたのが印象的でした。

ご謙遜でしょうが「明るく元気」が取り柄で、その「明るく元気」を困った人たちにおすそ分けしたいという精神との事です。国民年金ですから多くても月額6万円台という事です。多分、ご商売で蓄えられたものがあって「安心」して「世の為人の為に」活動が出来るのだと思います。何よりもお元気そうです。きっと体力には自信を持っておられると思います。どんな劣悪な環境でも体調を崩さない、この信念が重要だと思います。

私の場合、体力的に弱い方なので、尾島さんのような「がってん系」の仕事には向いていないのです。どちらかと言うと「頭脳」派なのです。頭で考えたシナリオで貢献する仕事なのです。過去の経験を蓄積しているので、幅広い分野でポケットがあり、さらに、トヨタやIBMそして船井総研というトップ企業から学んだ事も沢山蓄積しています。世の中に「時間」を売る仕事の方が圧倒的に多いのですが、私は、自分の経験を担保した能力が「売り」(商品)なのです。その経験をルール化してお客様に貢献しているのです。この基本形に、「明るく元気に」をプラスして、お客様の勢いを復活させて「オーラ」を再発進して「福の神様」が味方してくれるように醸成して行きたいと願っています。

【AMIニュースのバックログは <http://www.web-ami.com/siryu.html> にあります！】